

**つながるエリアに2,057人が来場 — みなし(借上型)仮設住宅入居者の交流イベント —**

9月2日(土)、熊本市東部交流センターで復興応援キリン絆プロジェクト「つながるエリア(みなし仮設住宅入居者応援イベント)」を開催し、みなし仮設住宅入居中の1,113世帯の方等、2,057人が来場されました。このイベントは(株)キリンホールディングス及び日本財団からの助成金を受け、くまもと災害ボランティア団体ネットワーク(KVOAD)、よか隊ネット熊本、県地域支え合いセンター支理事務所で実行委員会を組織し、各企業やボランティア団体、行政、市町村の地域支え合いセンターの協力のもとで開催したものです。



【出店を回る参加者の方々】

当日は専門家による相談コーナーにも多くの方が訪れ、自宅の再建やそれに伴う借入金に関すること、賃貸物件の情報に関すること、不動産の売買や税の減免に関すること、病気や介護に関することなど様々な相談がありました。相談者からは「今後の生活の見通しができて少し安心した。」との声が寄せられました。

また、近隣の方や知人と再会できたことを喜ばれたり、お住まいの地域の支え合いセンタースタッフと笑顔で会話される参加者も見られ、人と人がつながるための良い交流の場となりました。

**災害ボランティアセンター運営支援者としてのあり方を考える**

9月1日(金)、KKRホテル熊本で「災害ボランティアセンター運営支援者のあり方」をテーマに市町村社協ボランティア活動推進者研修会を開催し、社協職員28名が参加しました。

研修会では、和歌山県社協地域福祉部協働推進班ボランティアセンター主任の南出考氏を招き、和歌山県紀伊半島が大きな被害を受けた平成23年台風12号の経験などをもとに「支援者としての役割や大切にしている17の視点」について講義をいただきました。その後、7月に発生した九州北部豪雨災害で災害ボランティアセンターが設置された福岡県朝倉市、東峰村、大分県日田市の運営支援者として派遣された水俣市社協の松本沙紀氏、熊本市社協の宮原栄志氏、阿蘇市社協の倉田昌親氏に、



【講師の和歌山県社協 南出氏】

活動報告及び運営支援者としての役割や視点について発表していただきました。

参加者からは「南出さんの支援者として感じた思いや被災者との心の交流の話を聞いて、支援者として何が大切なのか改めて気づかされました。」「朝倉市、東峰村、日田市それぞれの災害ボランティアセンターの運営方法や職員の視点、考え方を知り、大変参考になった。」などの感想が寄せられ、今後の災害ボランティアセンター運営支援者としてのあり方を考える研修となりました。

**緊急小口資金(特例貸付)の償還状況**

昨年の熊本地震災害発生後に当面の生活資金として11,689件、15億7,620万円を貸し付けた生活福祉資金緊急小口資金(特例貸付)は、1年間の据え置き期間を経て、6月16日(平成28年6月に貸付けを受けた方は7月16日)から2年間の償還期間が始まっています。

8月末までの償還金累計額は1億3,017万円で、貸付額の8.26%となっています。すべての借受人が償還対象となった8月分の償還は、4,893件、3,948万円で、償還対象件数(11,591件)の42.25%、償還計画額の60.18%となっており、東日本大震災時の特例貸付と比較すると償還率が高くなっています。

なお、償還額の中には、これまでに一括償還等で償還が完了した381件、5,000万円が含まれています。

また、貸し付け後に自己破産等の手続きが行われたものが98件(内3件は免責決定済み)、1,310万円となっており、熊本地震の影響で生計維持が困難となった家庭が発生していることが伺えます。

## 福祉職の人材確保をめざして — 仕事職場説明会と就職面談会を開催 —



【事業所からの説明】

9月3日(日)、県総合福祉センターで、福祉の仕事に関心がある方や就職を希望している方を対象に、福祉の仕事職場説明会と就職面談会を開催し、求職者や学生の方計37名が参加しました。

職場説明会では12事業所が経営理念や求める人材、業務内容や職場の雰囲気、人材育成や研修体制、福利厚生、職員採用案内の概要をプレゼンテーションしました。

就職面談会では事業所ごとにブースを設置し、事業所の担当者と参加者との個別面談を行いました。参加者は積極的に各ブースを訪れ、担当者から事業所の概要や具体的な仕事内容などのより詳しい説明を受け、熱心に耳を傾けていました。

また、相談コーナーでは、福祉の仕事に対する質問や経験が浅い方やブランクがある方の様々な心配ごとの相談に応じ、また再就職へのアドバイス等も行いました。

## 住民主体の地域づくりの重要性を再確認 — 生活支援コーディネーター養成研修 —

9月13日(水)・14日(木)の2日間、KKRホテル熊本で、「平成29年度生活支援コーディネーター養成研修」を開催し、介護保険法改正による地域支援事業の実施に向け、住民とともに地域づくりを行う生活支援コーディネーターや市町村行政職員等117名が参加しました。

1日目は、県認知症対策・地域ケア推進課の行政説明と熊本学園大学准教授 今吉光弘氏からの基調講演の後、大分県竹田市経済活性化協議会及び熊本市中央区帯山2町内自治会・熊本市高齢者支援センターささえりあ帯山から実践報告がありました。2日目は、熊本市中央区各地区の高齢者支援センターささえりあ及び山都町社協から、それぞれの地域で取り組む、住民が相互に支え合う地域づくりについての実践報告とグループワークでの意見交換を行い、参加者からは「住民主体の地域づくりの重要性を再確認した」、「他市町村とネットワークができ、地域づくりのヒントになった」などの感想がありました。



【実践者からの報告の様子】

## 社協の役割・活動について再確認 — 市町村社会福祉協議会新任職員研修会 —



【熱心に講義を受講する参加者】

9月7日(木)・8日(金)の両日、山鹿市社協で「平成29年度市町村社会福祉協議会新任職員研修会」を開催し、35名が参加しました。

1日目は、本会地域福祉課から、社協設立の背景や法的根拠、組織体制や主要事業等について説明を行い、続いて、山鹿市社協地域福祉係長 廣瀬卓三氏から、山鹿市社協の組織・活動と平成29年度の重点事業について、事業の実施状況や事例等を交えて説明がありました。

2日目は、成年後見センターやふれあいサロン等山鹿市社協が取り組まれている4つの事業を視察後、グループワークで2日間の研修を振り返りました。参加者からは、「他社協の方と関わることで、自分の社協の強み・弱みに気づくことができた。」、「社協の役割について再確認できた。」などの感想がありました。

## 車椅子寄贈のお礼 — 住友生命・労働組合 様 —

9月12日(火)、住友生命保険相互会社熊本支社様及び住友生命労働組合熊本支部様から、県内の市町村社協に対して、車椅子6台が寄贈されました。

市町村社協への寄贈は、平成12年から毎年行われており、18年目の今年で、合計117台となります。これまでに寄贈いただいた42の市町村社協では、外出機会の少ない高齢者や障がい者の社会参加のための車椅子の貸出しや、小中学校の子ども達を対象にした車椅子の体験を通じた福祉教育など、様々な福祉活動に活かされています。

本年度の寄贈先は以下のとおりです。

<熊本支社2台> 阿蘇市社協、南小国町社協

<労働組合本支部4台> 山鹿市社協、美里町社協、和水町社協、菊陽町社協



【左から 石原支社長  
吉本事務局長  
合澤労働組合委員長】

# 各課トピックス

\* お問合せは、県社協各課まで

総務課	地域福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p><b>◆赤い羽根共同募金運動のお知らせ◆</b></p> <p>「赤い羽根は小さなことをたくさんしています。」をキャッチコピーに、10月1日から3月末までの6か月間、今年も全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されます。赤い羽根共同募金は、福祉施設、NPO法人、ボランティア団体等への支援をはじめ、安心・安全なまちづくりの支援、高齢者や障がい者への支援、子育て支援、災害復旧支援などの地域福祉の推進を図るために使われます。本年度の熊本県の募金目標額は、2億8,406万円となっています。みなさまのあたたかいご支援とご協力をお願いします。</p>	<p><b>◆第1回「ホームヘルパーのためのコミュニケーション講座」開催のご案内◆</b></p> <p>日時 11月6日(月) 13:30~14:30 会場 KKRホテル熊本 講演 すぐに使えるアドラー心理学に基づくやる気を引き出す関わり 講師 医療福祉コミュニケーションカレッジ 学長 佐久間 由香 氏</p> <p>参加費 無料 ※ 講演後は意見交換会(有料)を行います。詳細やお申込みは地域福祉課にお問合わせください。</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p><b>◆ソウェルクラブ会員交流事業のご案内◆</b></p> <p>事業名 「美ら海絶景紀行 沖縄周遊3日間の旅」 期日 11月25日(土)~27日(月) 宿泊場所 1 泊目リザンシーパークホテル谷茶ベイ(恩納村) 2 泊目ホテルサン沖縄(那覇市) 募集人数 40名 参加費 1人35,000円(通常価格69,500円) 申込期日 10月19日(木)8:30~10月20日(金)17:00 ※ 詳細は、会員事業所に別途ご連絡します。</p>	<p><b>◆ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付のご案内◆</b></p> <p>本資金は、高等職業訓練促進給付金を受けながら各種専門学校等に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親を支援する貸付金で、入学準備金と就職準備金の2種類があります。</p> <p>本年度第2期の入学準備金(50万円以内)の申請を次のとおり受け付けます。 受付期間 10月10日~11月22日まで ※ 詳細は本会ホームページをご覧ください。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-324-5456
<p><b>◆「福祉の就職総合フェア2017」開催のご案内◆</b></p> <p>福祉人材合同選考会(就職面談コーナー) 福祉の仕事ガイダンス(各種相談コーナー)</p> <p>日時 11月7日(火) 14:00~16:00 会場 KKRホテル熊本 2階「五峯」「城彩」 参加対象 福祉職に関心のある方、福祉施設等への就職希望者及び来春卒業予定の学生 同時開催 就活応援セミナー 時間 13:10~13:45 会場 1階「天草」 ※ 詳細は福祉人材・研修センターにお問合わせください。</p>	<p><b>◆「成年後見制度利用促進研修会」開催のご案内◆</b></p> <p>日時 11月10日(金) 13:15~16:30 会場 KKRホテル熊本 講演 成年後見制度の現状と課題について 講師 成年後見センター・リーガルサポート熊本支部 司法書士 井上 広子 氏</p> <p>参加費 1人1,000円(県社協会員)・2,000円(非会員) ※ 上記のほか、行政説明、法人後見事業の実践報告(玉東町社協)を予定しています。</p>
ボランティアセンター	運営適正化委員会
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	TEL 096-324-5471 / FAX 096-324-5456
<p><b>◆「第10回火の国ボランティアフェスティバル天草」開催のご案内◆</b></p> <p>期日 11月18日(土)、19日(日) 会場 天草市民センター及び周辺会場 参加対象 ボランティア、福祉関係者をはじめどなたでも参加できます。 参加申込先 天草市社協 締切 10月6日(金) 詳しくは、こちらからご覧ください。</p> <p>火の国ボランティアフェスティバル天草 <input type="button" value="検索"/></p>	<p><b>◆「福祉サービス苦情解決研修会」開催のご案内◆</b></p> <p>日時 11月24日(金) 13:00~16:20 会場 熊本市植木文化センター(植木文化ホール) 講演 苦情を福祉サービスの質の向上に活かすには 講師 西南学院大学教授 倉田 康路 氏</p> <p>シボカム 福祉サービスにおける苦情解決の現状と課題 シンポジスト 特別養護老人ホーム蕉夢苑 施設長 小篠 英明 氏 南関町社会福祉協議会 課長 真弓 裕一 氏 認知症と家族の会熊本県支部世話人 吉永 京子 氏</p> <p>参加費 1人2,000円</p>